＜2026年度春季グローバル教養型プログラム＞

タイ国立タマサート大学

グローバル産業人材創出育成プログラム

募集要項	
プログラム名	グローバル産業人材創出育成プログラム
派遣先大学・機関名	タイ国立タマサート大学ランシットキャンパス
研修先（国・都市）	タイ・バンコク近郊
派遣期間	2027年３月４日（木）～３月18日（木）（予定，航空券日程から1～2日程度の変更あり） ※派遣期間には福井-国内主要空港間の移動期間も含めます。 ※研修前後に個人的な旅行を含めることは認めません。
研修概要	**タイの学生と出会い、街で学び、自分の可能性を広げる2週間。** 本プログラムでは、タイの文化・社会・経済を、講義や企業訪問、文化体験を通じて学びます。研修の中心は、現地の学生とともに取り組むフィールドワーク。 街を歩き、人々の声を聞きながら、自分たちの問いを深めていきます。 「日本と何が違うのだろう」「なぜ、この商品が人気なのだろう」 そんな**身近な疑問が、調査の出発点**です。仲間やタイ人学生と意見を交わし、発見をまとめて発表する経験を通じて、課題を見つける力や、自分の考えを伝える力を磨きます。 英語に自信がなくても、伝えようとする気持ちから。簡単な英語や日本語、時にはジェスチャーも使いながら交流する中で、言葉や文化の違いを越えて協力する面白さを体験できます。 過去の参加者からは、「自分の殻を破れた」「日本や福井を新しい視点で見直せた」「もう一度タイに行きたい」といった声が寄せられています。**新しい環境で一歩を踏み出す経験**は、これからの大学生活や将来の進路を考えるきっかけにもなるはずです。 少しの好奇心と「やってみたい」という気持ちを持って、タイでの学びに挑戦してみませんか。 **＜生活面について＞** **・食事** タマサート大学の学食（キャンティーン、1食 200 円～）やバンコク市内（デパート食事フロア 300 円～）、都内随所にある 8 番らーめん 500 円～）、フィールドトリップ先などで食事をとります。食を通じてタイの日常に触れることも、研修の楽しみの一つです。 **・生活サポート** タマサート大学の学生がバディとなり、現地での生活や交流をサポートします。学生同士のつながりを通じて、タイの暮らしをより身近に感じられます。 **・使用言語** 基本的に簡単な英語と日本語を用います。上手に話すことよりも、自分から伝え、相手を理解しようとする姿勢を大切にします。 **・タマサート大学ランシットキャンパス** タマサート大学は、1934 年創立のタイを代表するトップレベルの名門総合大学です。研修の舞台となるランシットキャンパスは、バンコク都心にも 30 分と近く、緑豊かな広大な敷地（約 281 万㎡（1,757 ライ）、東京ドームおよそ 60 個分）に学食やスポーツ施設、あらゆる生活施設が充実し、屋上農園など環境先進的な取り組みも身近に感じられる場所です。学生交流を通じて海外の大学生活を体験できます。

	＜プログラム日程＞ **＜1 週目＞　タイでの新しい出会いと発見** ・日本国内の空港からバンコクへ出発。 ・オリエンテーションやキャンパスツアーで、現地での生活をスタート。 タイ人学生のバディとの顔合わせや歓迎会を通じて、交流を深めます。 ・街や人々の暮らしに触れながら、チームで調査活動に取り組みます。 ・週末は郊外へ。タイの歴史や文化に触れるエクスカーションを楽しみます。 **＜2 週目＞　ことば・文化・ビジネスを体験** ・買い物や食事で使える「サバイバルタイ語」を学び、現地でのコミュニケーションに挑戦します。 ・タイの歴史や文化を学び、文化体験を通じて日本との共通点や違いを発見します。 ・日系企業を訪問し、海外で働くことや、タイと日本のビジネスのつながりを学びます。 ・バディとの交流や街での調査を進め、中間報告で意見を交換。調査をさらに深めます。 **＜3週目＞　発見をまとめ、仲間と成果を共有** ・調査で得た発見をチームでまとめ、報告会で発表します。 ・お別れパーティで、バディや先生方と研修の思い出を振り返ります。 ・学びと出会いをお土産に、バンコクから日本へ帰国します。 ※日程・内容は変更となる場合があります。
滞在方法	タマサート大学ランシットキャンパス内（大学内ホテルを予定）
参加費用	授業料・宿泊費（11 万円前後，為替により変動有り，教材費、宿泊費、フィールドトリップ代込） 往復航空券及び燃油サーチャージ等、海外旅行保険料、パスポート申請料、娯楽費、土産代等は別途参加者負担 ※航空券購入時の空席状況や諸費用税金等により、参加費用総額が変動する可能性があります。 ※詳細は後述の「■その他注意事項」を参照してください。
引率	あり（地域創生推進本部教員）
対象	全学部・研究科の学生 ※プログラム実施期間中に試験・再試・講義・実習等のある学生は参加できません。
定員	20～25 名（予定）
奨学金 ※①と②の併給不可	①日本学生支援機構海外留学支援制度（JASSO 奨学金）：9万円 ※学業成績の受給要件あり。 ※予算の状況により、要件を満たしていても受給できない場合があります。 ※申請には竹本先生の 2026 年度前期または後期授業の下記いずれか1科目以上を受講している事が必須。 ・学部一般教養科目「現代社会とビジネス」「現代社会とキャリア・アントレプレナーシップ」 ・学部専門科目「アントレプレナーシップ論」「研究室実験・演習（ゼミ）」 ・大学院科目「国際化戦略とオープンイノベーション（コードシェア科目名「産業創成工学 PBL」）」 「起業化経営論」「企業戦略概論（コードシェア科目名「MOT 概論」）」「研究室実験・演習（ゼミ）」 ②福井大学学生海外派遣支援金（福大支援金）：6万円 ※受講科目要件はありませんが、一定の成績要件が必要です。
単位付与	2 単位 ※対象となる科目名は所属ごとに異なります。 ※今年度卒業予定の方は、学位授与式で配布する成績証明書には修得単位の記載が間に合わない場合があります。
説明会	2026年 12 月1日（火）12:05-12:45 @文京キャンパス　学生交流センター1F　プロジェクトラーニングスペース 申込は[こちら] ※会場準備のため、事前申し込みをお願いします。（ただし、当日参加も可。） ※松岡・敦賀キャンパス所属の学生で、対面参加が難しい場合、事前に国際課まで連絡して下さい。

UF-GLP ポイント	①説明会への参加 :【国際教養】 ポイント対象 ②プログラムへの参加 :【実践・貢献)】 ポイント対象　※①②は積算可 ※UF-GLP とは？・参加登録はこちら
学内参加申込方法	締切までに指定の書類を国際課に提出。 詳細は下記「■学内参加申込提出書類」を確認すること。
問合せ先	＜申込手続きに関すること＞ 福井大学国際課　学生交流担当 Eメール：studyabroad@ml.u-fukui.ac.jp TEL：0776-27-8404 ＜研修内容に関すること＞ 竹本教授 Eメール：takemoto@u-fukui.ac.jp

■学内参加申込提出書類

・申込受付期間：2026 年 12 月 1 日(火)13:00～12 月 18 日(金)17:00　※厳守！

・提出先：国際課

（文京）学生交流センター1 階

（松岡）管理棟 1 階学務課内

（敦賀）事務室 1 階

・申込方法：下記①～⑦すべての書類の送信・提出を以て参加申込完了。

≪オンライン≫

① 参加申込フォーム送信

≪紙で国際課へ提出≫※A4 判で揃えること。②③の様式はこちら

② 「福井大学　短期海外研修プログラム　参加申込書」
　※助言・指導教員（医学部生は学年主任）の自筆署名が必要（代筆不可）

③ 「誓約書」
　※保証人の自筆署名が必要（代筆不可）
　※保証人が遠方に住んでいる場合、郵送での対応が必要

④ エッセイまたはポンチ図など
　テーマ：「志望動機およびあなたが外国人に伝えたい日本の文化とは？」
　※タイプ打ちで A4 サイズ用紙1枚程度
　※文字で表現するものでなくても結構です。自由な形であなたの思いを表現してください。

⑤ 語学能力を証明する書類の写し（TOEFL、TOEIC、英検、中国（仏・独）語検定等）
　※ある学生のみ。プログラム参加にあたり、語学能力の有無は問いません。

⑥ パスポート原本の写し（顔写真のページ）
　※パスポート未取得者は、記入済みの「一般旅券発券申請書」の写し（氏名ローマ字表記が確認できるもの）を提出し、参加者決定通知後に至急申請してください。
　※航空券の予約・購入時にパスポート情報が必要です。

----- JASSO 奨学金申請希望者は以下も提出してください-----

⑦ JASSO 奨学金申請書類一式
（1）家庭状況等調書
（2）銀行振込依頼書
（3）銀行通帳見開きページの写し
※JASSO 奨学金に申請可能かどうかは、上記「奨学金」を確認すること。
※（3）は通帳がない場合、キャッシュカードのコピーやアプリの画面でも可。
アプリの画面印刷を提出する場合は、銀行名、支店名、口座種別、口座名義、口座番号が全てわかるものを提出すること。

■今後のスケジュール

12 月 1 日(火)	募集説明会
12 月 18 日(金)	学内参加申込締切
12 月 23 日(水)以降	参加者決定通知・対象奨学金案内
1 月～2 月	渡航前オリエンテーション(3 回)、国際課オリエンテーション
3 月 4 日(木)～3 月 18日(木)	プログラム実施
帰国後 10 日以内	帰国後課題提出、調査報告書1～2枚(PDF 形式)を引率教員にメールで提出

■その他注意事項

参加費用に含まれない費用　※変更の可能性有

・往復航空券代および関連費*1
・日本国内移動交通費
・海外旅行保険料*2
・危機管理サービス利用料*3
・参加費用支払手数料
・海外渡航申請手続費用(パスポート申請・ビザ申請など)
・海外用 SIM カード購入、レンタル Wi-Fi など海外でのインターネット通信環境整備にかかる費用*4
・手荷物超過料金
・その他個人的支出　など

*1 往復航空券:関連費には燃油サーチャージ、空港施設利用料、代理店手数料等を含みます。フライトは全員同じ便を利用するため、研修前後に個人的な旅行を含めることは認めません。

*2 海外旅行保険料:大学指定の海外旅行保険(ジェイアイ傷害火災保険:取扱窓口 (株)アークスリーインターナショナル)への加入を全員必須としています。詳細は渡航約1カ月前に実施の国際課オリエンテーションで案内しますので、個人で別の保険には加入しないでください。

*3 危機管理サービス利用料:海外旅行保険同様、参加者全員加入必須の危機管理サービスです。有事の際の安否確認やトラブル時の相談窓口となります。申込方法等詳細は、国際課オリエンテーションにて案内します。

*4 インターネット通信環境:海外用 SIM カード等の購入は任意ですが、危機管理上、保険会社や大使館とのやりとりは電話連絡が基本となるため、海外でも携帯電話通話ができる状態・契約にしておくことを強くお勧めします。

■キャンセルについて

原則、参加申込以降のキャンセルは受け付けません。やむを得ない事情により参加をキャンセルする場合、プログラム費、滞在費、往復航空券代等にかかるキャンセル料は各手配先のポリシーマニュアルに基づき参加者の自己負担となります。